

場 所：広島みなと公園

時 間：7時～8時

梅雨時期で前夜からの降雨もあり実施が危ぶまれましたが早朝は曇りでしたので実施することが出来ました(5時に判断)。

◆漂着ゴミ並びに陸上ゴミの回収

約200名の参加がありました(地元町内会・公衛協会・清港会・広報協会・広島市・広島県・国土交通省・企業・NPO等多様な主体が協働しました。)

- ・広島市の山根さんの司会進行により広島市の吉原都市整備局次長ごあいさつ



瀬戸内・海の路ネットワーク協議会が中心となり今年で18回を迎えます。宇品海岸1丁目南町内会の皆様や宇品西地区公衆衛生推進協議会・清港会・瀬戸内海汽船(株)・中電技術コンサルタント(株)・五洋建設(株)・(株)青木組・国土交通省 港湾空港部、広島港湾・空港整備事務所・広島県 空港港湾部、広島港湾振興事務所にご参加頂いております。旅客ターミナル前では広島観光親善大使も参加し中国海事広報協会によるティッシュペーパー配布等による啓発活動も行われています。皆様の力で海をきれいにし、人が集い、賑わう海辺づくりを進めたいと思います。

- ・地域代表の浜田町内会長の参加御礼



早朝からお集まり頂き有難うございます。怪我の無いよう清掃活動をお願いします。

- ・大塚アサヒビール(株)広島支社長の協賛趣旨のご挨拶



全国47都道府県ごとの自然や環境等の保護・保全活動に期間中に製造したスーパードライ1本につき1円が活用して、参加団体と共に「うまい!を明日へ!」のプロジェクトをはじめており、広島県については、e~子プロジェクト並びに今回の広島湾クリーンアップ作戦に協賛しております。今期から広島全県にわたって事業を展開しております。平

素の活動に敬意を評し、さらに継続されることを祈念しております。このたびは NPO 法人瀬戸内里海振興会の海底ゴミ収集などに協賛し、お手伝いをさせて頂いております。

その後、ゴミ回収の説明を行い、火バサミ・手袋・軍手・タオル（協賛）・回収袋を配布しました。回収作業は燃えるもの・燃えないもの・瓶や缶などの資源ゴミに区分し、公園内の落ちた紙くずや空き缶、護岸に打ち上げられている枯れ木などを回収しました。

ゴミの集積状況



燃えないゴミ

燃えるゴミ

資源ゴミ

海底ゴミ

#### ◆海底ゴミの回収

当会会員15名(海域から5名・陸上から10名)の参加がありました。ダイバー2名を含む計7名6時から回収作業にはいりました。



護岸沿いの海中ゴミ状況



潜水作業船アクア号(6.4トン)

梅雨時期もあり海中ゴミが沢山浮遊していましたが海底ゴミを中心に回収作業しました。開会式にはダイバーも参加しました。開会式後再度海底作業に従事しましたが、視界の悪い海域にも拘らずアマモが生育しておりました。自然のたくましさを感じるとともに直立護岸などではなく海辺に親しむ構造が必要な感じをもちました。

◆ゴミの回収量は約1時間の作業で1.2トンの回収ができました。



ダイバーによる海底ゴミ回収作業



空き缶とアマモ



清港会所属の清掃船



閉会にあたり、全員が集まる中で、平成5年から瀬戸内海の沿岸部107市町村で構成される「瀬戸内海・海的路ネットワーク推進協議会」を代表して国土交通省中国地方整備局広島港湾空港整備事務所長 奥谷さんから御礼のご挨拶で終了しました。



平成5年から始まりました「リフレッシュ瀬戸内」は今回で18回目を迎えます。

昨年度はここ「広島みなと公園」を含め346箇所69,692人が参加し、約500トンもの大量なゴミを回収しました。今年から「うまいを明日に」でおなじみのアサヒビール株式会社の協賛により海底にたまったゴミの回収活動もあわせて実施しました。

皆さんの前に広がる瀬戸内海は私たちに心の安らぎを与えてくれるかけがいのない美しい海であるとともに、子どもたちに引き継ぐべき貴重な財産でもあります。

私ども、広島港湾・空港整備事務所も海面清掃船「おんど2000」による海面清掃活動を行っていますが皆様の地道な活動こそが重要だと思っています。

瀬戸内海の美しい環境を守り続けるために、今後とも積極的に環境保全に努めてまいりますのでよろしくお願いします。